第四回 演習問題(ポリモーフィズム)

諸注意

● 「Base.java」,「Tweet.java」,「Reply.java」,「Retweet.java」,「TweetManager.java」,「Client.java」をWebから提出する(6ファイルを提出する場合,6回に分けて提出処理を行う).

- コピペ発覚時は見せた側も見せてもらった側も両方O点とする。
- 必ずコンパイルエラーのない状態で提出すること(自動採点したいのでコンパイルエラーがあると、全てO点になってしまう).
- 課題の途中で提出することになった場合, コンパイルエラーさえ出なければ, 課題の途中の状態で提出してくれて構わない. 一部のメソッドだけが実現できていない場合, コンパイルエラー出ないならばそのままの状態で提出してくれてよい.
- 主にコンソール出力で評価しているため、デバッグに用いたようなコンソール出力が残っていないように気をつけること。基本的にコンソール出力を指定しない限りは、課題内でコンソール出力はないものとする。
- Package は使わないこと(デフォルトパッケージで実装する). Package で実装すると、自動採点がうまくいかない.

課題1

	問題設定	Twitter は利用者らがつぶやき(Tweet)を投稿するアプリケーションである。Tweet に対して返信(Reply)を行ったり、再投稿(Retweet)を行ったりすることができる。 Twitter 風アプリケーションを作成するため、次の手順に従って開発を進めよ。基本的にフィールドは"継承されうるクラスの場合子クラスからもアクセスできるように"し、"継承されない場合他のクラスからアクセスできないように"隠蔽せよ。メソッドは他のパッケージからでもアクセスできるようにせよ。オーバーライドのタイミングでは@Override 注釈を忘れないように記述すること。				
1	課題 1 で 作成する クラス	Base: 以下のオブジェクトの元となるクラス Tweet: 1 つの Tweet を扱うクラス Reply: 1 つの Reply を扱うクラス Retweet: 1 つの Retweet を扱うクラス				
	継承関係	abstract Base int tweetId long datetime String userId int getTweetId() abstract String getText() Retweet Base target String getText() Retweet Base target String getText()				

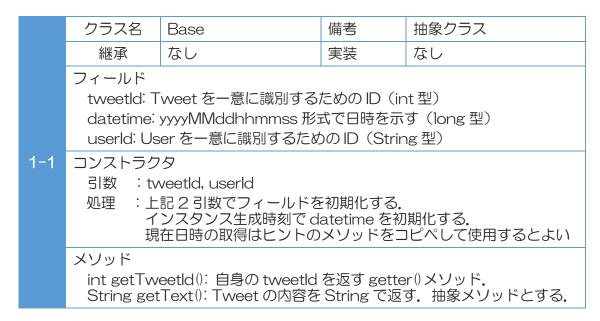
担当教員:長谷川達人

ヒント1:本日の日時を取得するメソッド(課題1-1で使用)

本日の日時(2018/04/11 12:34:56)を 20180401123456 のような long 型で取得するには,以下のメソッドをコピペして使うと良い. 内容については将来的に説明する予定である. import 文はファイルの先頭に記述すること.

```
import java.text.SimpleDateFormat;
import java.util.Calendar;

public static long getNow(){
    //Calendarクラスのオブジェクトを生成する
    Calendar cl = Calendar.getInstance();
    //SimpleDateFormatクラスでフォーマットパターンを設定する
    SimpleDateFormat sdf = new SimpleDateFormat("yyyyMMddhhmmss");
    return Long.parseLong(sdf.format(cl.getTime()));
}
```



1-1:解答例 import java.text.SimpleDateFormat; import java.util.Calendar; // Tweetの基礎を扱う抽象クラス public abstract class Base { protected int tweetId = 0; // Tweet自体のID protected long datetime = 0; // yyyyMMddhhmmss形式とする protected String userId = ""; // TweetしたユーザのID // 全てのフィールドを初期化する public Base(int id, String uid){ this.tweetId = id; this.userId = uid; this.datetime = getNow(); // 生成時に自動で決定 } public int getTweetId(){ return this.tweetId; // Tweet内容を返すメソッド(この段階では抽象メソッド) public abstract String getText(); public static long getNow(){ //Calendarクラスのオブジェクトを生成する Calendar cl = Calendar.getInstance(); //SimpleDateFormatクラスでフォーマットパターンを設定する SimpleDateFormat sdf = new SimpleDateFormat("yyyyMMddhhmmss"); return Long.parseLong(sdf.format(cl.getTime())); }

```
クラス名
                Tweet
                                    備考
        継承
                Base
                                    実装
                                              なし
     フィールド
       text: Tweet のつぶやき内容 (String 型)
     コンストラクタ
       引数: tweetld, userld, text
      処理
            :上記3引数でフィールドを初期化する。
              tweetld, userld, datetime は親クラスの
              コンストラクタを用いて初期化する.
     メソッド
       String getText(): 親クラスの getText()を実装する.
        <xxx>は変数を意味し、戻り値の出力形式は次の通りとする。
1-2
        ただし、◇は表示しない、各単語の間は半角スペース1つである。@と
        〈userld〉は隣接する.
        <text> from @<userId> [<datetime>]
        例: 初投稿だよ from @t-hase [20180501101010]
     テスト例 (Main.java の main メソッドにて実行する)
     Tweet t1 = new Tweet(0, "t-hase", "初Tweet★☆");
Tweet t2 = new Tweet(1, "t-hase", "誰もいませんか?");
Tweet t3 = new Tweet(2, "t-hase", "さみしい");
     System.out.println(t1.getText());
     System.out.println(t2.getText());
     System.out.println(t3.getText());
     テスト出力例
     初Tweet★☆ from @t-hase [20180427045831]
     誰もいませんか? from @t-hase [20180427045831]
     さみしい from @t-hase [20180427045831]
```

```
1-2:解答例
// 1Tweetを扱うクラス
public class Tweet extends Base{
      protected String text = "";
                                        // Tweetの内容
      public Tweet(int id, String uid, String text){
// なるべく親クラスのコンストラクタを利用する
             super(id, uid);
             this.text = text;
      }
      // Tweet内容を返すメソッド
      @Override
      public String getText(){
             // <xxx>は変数を意味し、戻り値の出力形式は次の通りとする。
             // ただし、<>は表示しない、各単語の間は半角スペース1つである.
             // @と<userId>は隣接する.
             // [text] from @[userId] [[datetime]]<改行>
             return this.text + " from @" + this.userId
                     + " [" + this.datetime + "]";
      }
}
```

1-3:解答例

}

```
クラス名
              Reply
                              備考
       継承
              Tweet
                                       なし
                              実装
    フィールド
     target: Reply 対象の Base インスタンス
    コンストラクタ
      引数
           : tweetld, userld, text, target
           :上記4引数でフィールドを初期化する。
     処理
           tweetld, userld, text, datetime は親クラスの
            コンストラクタを用いて初期化する.
    メソッド
     String getText(): 親クラスの getText()を再実装する.
1-3
       Reply は先頭に@と相手のIDを隣接表示する以外は普通のTweet と同
       じなので、Tweet 部は親クラスのメソッドを利用して表示を行うこと。
       @\target O userld \text from @\(userld \) [\(datetime \)]
       例: @t-hase 初投稿おつ from @s-fuku [20180501101500]
    ヒント
      super()や super.method()は親クラスのコンストラクタやメソッドを呼
    び出す、親の親クラスのコンストラクタやメソッドではない、
    テスト例(Main.java の main メソッドで、1-2 のテストに続けて書く)
    Reply rp1 = new Reply(3, "s-fuku", "いますよー", t3);
    System.out.println(rpl.getText());
    テスト出力例
    @t-hase いますよー from @s-fuku [20180427050127]
```

扫当教員:長谷川達人

```
public class Reply extends Tweet {
    // Reply対象のTweet (どのTweetにReplyしたのか)
    // Base型で持つことで、Tweet、Reply、Retweet全でに対応できる.
    protected Base target;

public Reply(int id, String uid, String text, Base target) {
        // なるべく親クラスのコンストラクタを利用する
        super(id, uid, text);
        this.target = target;
    }

// Reply内容を返すメソッド
@Override
public String getText() {
        // Replyは先頭に@と相手のIDを隣接表示する以外は普通のTweetと
        // 同じなので、Tweet部は親クラスのメソッドを利用する.
        // @<targetのuserId> <text> from @<userId> [<datetime>]
        return "@" + this.target.userId + " " + super.getText();
```

// 1Tweetの一種として, Reply (返信) を扱うクラス

// Reply対象のuserIdなので<target.userId>とし、自身のTweet // 表示には親クラス(Tweet)のgetText()を流用する点が重要. // <target.userId>はprotectedなのでフィールドアクセス可能.

```
クラス名
              Retweet
                               備考
       継承
                                        なし
              Base
                               実装
    フィールド
      target: Reply 対象の Base インスタンス
    コンストラクタ
      引数
           : tweetld, userld, target
           :上記3引数でフィールドを初期化する。
      処理
            tweetld, userld, datetime は親クラスの
            コンストラクタを用いて初期化する.
    メソッド
      String getText(): 親クラスの getText()を再実装する.
1-4
       Retweet は先頭にRTと表示しRetweet 先の内容をダブルクォーテー
       ションで囲い、その後で from @\userld> [\datetime\]だけ表示する.
       例: RT "@t-hase 初投稿おつ from @s-fuku [20180501]
          101500]" from @t-hase [20180501102000]
    ヒント
      ダブルクォーテーションを表示するには「¥"」と半角で書くと良い.
    テスト例(Main, java の main メソッドで、1-3 のテストに続けて書く)
    Retweet rt1 = new Retweet(4, "t-hase", rp1);
    System.out.println(rt1.getText());
    テスト出力例
    RT "@t-hase いますよー from @s-fuku [20180427050517]" from @t-hase
    [20180427050517]
```

1-4:解答例

```
// 1Tweetの一種として,Retweet(再投稿)を扱うクラス
// 誰かのTweetをお気に入りとして再投稿することができる機能である.
public class Retweet extends Base{
      protected Base target;
       public Retweet(int id, String uid, Base target) {
             super(id, uid);
             this.target = target;
       }
       // Retweet内容を返すメソッド
       // Retweetは先頭にRTと表示しRetweet先の内容をダブルクォーテーション
       // で囲い、その後でfrom @<userId> [<datetime>]だけ表示する.
       // RT "[元Tweetの内容]" from @[自分のuserId] [[自分のdatetime]]
       @Override
      public String getText(){
             return "RT \( \frac{4}{3}\)" + this.target.getText() + "\( \frac{4}{3}\)" from @"
             + this.userId + "[" + this.datetime + "]";
// Retweet対象の本文を表示するのにtarget.getText()とする.
             // 表示形式はtargetの中身の型にお任せし内容を取得可能
             // targetはBase型なので少なくともgetText()を実装している.
       }
}
```

課題2

	問題設定	Twitter 風アプリケーションの基礎データ Tweet 周りの開発を行ったが、main メソッドから利用するには面倒が多い. Tweet を一元管理して取り扱うクラス TweetManager を開発し、Twitter の利用をより簡単にしよう. TweetManager はシステム全体ですべての Tweet を一元管理するため、インスタンス化を禁止するとともに、全てのフィールドとメソッドを static とする. インスタンス化を禁止するには (abstract にはせずに)、コンストラクタを private で					
	カニコタ	宣言するとよい。フィー					
	クラス名	TweetManager	備考	インスタンス化を禁止			
	継承	なし	実装	なし			
	フィールド MAX_SIZE = 1000: Tweet の上限サイズ(int 型の定数) logs: これまで投稿された全 Tweet を管理する配列(Base 型配列) nowTweetld: これまで発行された tweetld の最終値(int 型)						
	コンストラクタ						
	引数,処理:なし 備考 : private で宣言する(インスタンス化を禁止するため)						
	メソッド						
2	add(): 引数で送られてきた新たな Tweet を保存するメソッド 引数 : 保存する Tweet インスタンス (Base 型) 戻り値: なし 処理 : logs を検索し null の場合, その要素に引数を格納する。 logs に空きがない場合,格納せずに以下をコンソール出力する。 上限を超えたため保存されませんでした showAllTweets(): 保存された全ツイートをコンソール出力するメソッド 引数,戻り値: なし 処理 : logs の null 以外の Tweet 全てを順に表示する。 各 Tweet は改行で区切ることとする。						
	getTweetByld(): 該当の tweetId を持つ Tweet を検索して返すメソッド 引数 : 検索対象の tweetId (int 型) 戻り値:引数と同じ tweetId を持つ Tweet (Base 型). 該当しない場合は null を返す。 getNewId(): まだ投稿されていない tweetId を返すメソッド						
	引数 :なし 戻り値:まだ投稿されていない tweetld (int 型) 処理 :これまで発行された tweetld の最終値+1 を返せば良い.						
	テスト例						
	TweetManager.add(new Tweet(TweetManager.getNewId(), "t-hase", "さみしい")); Base t = TweetManager.getTweetById(1); Reply rp = new Reply(TweetManager.getNewId(), "s-fuku", "いますよー", t); TweetManager.add(rp); Retweet rt = new Retweet(TweetManager.getNewId(), "t-hase", rp); TweetManager.add(rt); TweetManager.showAllTweets();						
	テスト出力例						
	さみしい from @t-hase [20180427104833] @t-hase いますよー from @s-fuku [20180427104833] RT "@t-hase いますよー from @s-fuku [20180427104833]" from @t-hase [20180427104833]						

2:解答例

```
// 全Tweetを管理する敏腕マネージャー
// インスタンス化せずにすべてstaticで管理される.
// すなわち本クラスで定義されたフィールドは、本システムで唯一であり、
// メソッドはインスタンス化せずに利用可能である.
public class TweetManager {
      public static final int MAX SIZE = 1000;
      private static Base[] logs = new Base[MAX_SIZE];
      private static int nowTweetId = 0;
      // コンストラクタをprivateにすることでnewすることを禁止する.
      private TweetManager(){}
      // 全Tweetを管理するlogsにBase tを格納する
      public static void add(Base t){
             int i = 0;
             // logsを検索していき初めてnullだった場所にTweetを格納する.
// 拡張for文で実装していた人がいたがnullである場所を見つけて
// そこに格納を行うため、この場合拡張for文は相性が悪い.
// 拡張for文は参照のみの場合に使うのが無難だろう.
             for(i=0; i<MAX_SIZE; i++){
// MAX_SIZEのところはlogs.lengthでもよい.
                    if(logs[i] == null){
                           logs[i] = t;
                           break;
                    }
             if(i==MAX_SIZE){
                    // 上限を超えてしまった場合
                    System.out.println("上限を超えたため
                                         保存されませんでした. ");
             // tweetIdとlogs[i]のiは別物なので注意すること.
      }
      // 全Tweetを一括でコンソール出力するメソッド
      public static void showAllTweets(){
             // logsを検索していき, nullでない場合は表示する.
             // 今回は参照だけなので拡張for文を用いても問題ない.
             for(int i=0;i < MAX_SIZE; i++){</pre>
                    if(logs[i] != null){
                           System.out.println(logs[i].getText());
                    }
             }
      }
```

```
// 全Tweetから該当のtweetIdを持つTweetを取得するメソッド
public static Base getTweetById(int tid){
    // logsを検索していき、nullでない場合はIdチェックを行う.
    // 今回は参照だけなので拡張for文を用いても問題ない.
    for(int i=0;i < MAX_SIZE; i++){
        if(logs[i]!= null){
            if(logs[i].getTweetId() == tid){
                 return logs[i];
            }
        }
     }
    return null;
}

// まだ投稿されていない次のtweetIdを返す.
// 返したtweetIdは使われたものとする.
public static int getNewId(){
        nowTweetId++;
        return nowTweetId;
}
```

課題3

	問題設定	Twitter を使うときには一度ユーザ登録を行っておくと煩雑な処理なく簡単に Tweet 等ができる方が良い. しかし, 現状は課題2のテスト例のように ID を新規取得したり, 投稿者のIDを入力して Tweet を生成したりする必要がある. これを簡略化するため, 投稿者ごとの Client を開発しよう. Client はインスタンス生成時に投稿者となる利用者の ID を登録しておき, 以降の Tweet を簡略化する. フィールドは基本的にすべて隠蔽し, メソッドのみ公開せよ.					
	クラス名	Client	備考				
	継承	なし	実装	なし			
	フィールド userld: 投稿者のID (String 型)						
	コンストラクタ 引数: userld 処理: 全てのフィールドを初期化する						
	メソッド						
	tweet(): 引数の内容で Tweet を行うメソッド 引数 : つぶやきの内容 text (String 型) 戻り値:生成・保存処理を行った後のインスタンス(Tweet 型) 処理 : Tweet 生成から TweetManager を用いた保存までを行う。						
3	retweet(): 引数の Tweet インスタンスを Retweet するメソッド 引数 : Retweet 対象のインスタンス(Base 型) 戻り値:生成・保存処理を行った後のインスタンス(Retweet 型) 処理 : Retweet 生成から TweetManager を用いた保存までを行う。						
	reply(): 引数の Tweet インスタンスに対して Reply するメソッド 引数 : 1. Reply のつぶやき内容 text (String 型) 2. Reply 対象のインスタンス (Base 型) 戻り値: 生成・保存処理を行った後のインスタンス (Reply 型) 処理 : Reply 生成から TweetManager を用いた保存までを行う.						
	テスト例						
	<pre>Client hase = new Client("t-hase"); Client fuku = new Client("s-fuku");</pre>						
	hase.tweet("初Tweet★☆"); hase.tweet("誰もいませんか?"); Base t1 = hase.tweet("さみしい"); Base t2 = fuku.reply("いますよー", t1); hase.retweet(t2);						
	TweetManager.showAllTweets();						
	テスト出力例		_				
	初Tweet★☆ from @t-hase [20180427112256] 誰もいませんか? from @t-hase [20180427112256]						
	さみしい from @t-hase [20180427112256]						
	@t-hase いますよー from @s-fuku [20180427112256] RT "@t-hase いますよー from @s-fuku [20180427112256]" from @t-hase [20180427112256]						

```
3:解答例
// Tweetを生成するクライアント
public class Client {
      private String usetId = "";
       public Client(String uid){
             this.usetId = uid;
       }
       // Tweetを行うメソッド
       public Tweet tweet(String text){
              Tweet t = new Tweet(TweetManager.getNewId(),
                                                 this.usetId, text);
              TweetManager.add(t);
              return t;
       }
       // Retweetを行うメソッド
       public Base retweet(Base target){
              Retweet rt = new Retweet(TweetManager.getNewId(),
                                          this.usetId, target);
              TweetManager.add(rt);
              return rt;
       }
       // Replyを行うメソッド
       public Base reply(String text, Base target){
              Reply rp = new Reply(TweetManager.getNewId(),
                                          this.usetId, text, target);
              TweetManager.add(rp);
              return rp;
       }
```